

## 令和4年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

## I 自己評価

1	学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2	評価する領域・分野	教務部		
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	アンケートにおいて、90%以上の生徒が「授業の教え方や説明が分かりやすい」「ICT機器を活用した授業が学習の理解につながっている」と回答していることから、毎日の授業を教科担任がタブレット等のICT機器を効果的に活用し、生徒の理解度の向上に努めていることが伺える。		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1)タブレット等のICT機器の利活用の推進により、主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業の工夫・改善に取り組む。また、スタディサプリの利活用の推進により、苦手分野の把握とともに基礎学力の定着を図る。 (2)学習指導要領（平成30年告示）に対応した観点別評価についての研修および研究を実施する。 (3)地元産業への理解を深め、効果的な地元企業等との連携について研究をする。		
5	重点目標を達成するための校内組織体制	教務部会、各分掌、学年会、専門部会等との連携強化を図る。		
6	目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	(1) ICT機器、スタディサプリア及びR-timeによる学習の定着 (2) 観点別評価についての教員研修および研究 (3) インターンシップの推進、地域連携、Web等による広報活動	(1) 各種アンケート結果、スタディサプリア等の活用状況。 (2) 学習等に関する調査アンケート結果、授業を通しての先生方からのご意見 (3) ホームページ等の更新数、各種の広報活動数		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
	(1) ICT機器やスタディサプリアの活用について情報共有を行った。 (2) 観点別評価についての研修および研究を実施した。 (3) 他の分掌や地元産学官と連携し、ホームページ等の広報活動の充実を図った。	(1) 利用度は高まっているか。 (2) 適切な評価が行われたか、生徒の学ぶ意欲の向上につながったか。 (3) ホームページ等の更新数、各種の広報活動数	A (B) C D A (B) C D (A) B C D	
11	成果・課題	総合評価 A (B) C D		
	○コロナ禍が続く中、体育祭や文化祭などの学校行事の開催に向けて、管理職や関係分掌と調整を行うことが出来た。 ○観点別評価について、全教員向けの研修を実施し、統一した評価シートを使用するなど、スムーズに学習評価することができた。 ○ホームページの更新数が昨年と比べ増加し、地元広報誌にも本校の取り組みを特集で掲載していただくなど、広報活動を積極的に行うことができた。 ●授業におけるICT機器の利活用場面は多く、生徒の学習理解に役立っているが、スタディサプリアの利用率が上がらず、今後本校生徒に合ったコンテンツを検討する。			
12	来年度に向けての改善方策案	・新学習指導要領に基づいた学習評価の方法について、引き続き検証を行い、生徒の学習意欲の向上につながる評価となるように努める。 ・広報活動を来年度以降も積極的に行うために、校内の組織体制づくりを行う。		

## II 学校関係者評価

実施年月日 令和5年1月30日(月)

## 【意見・要望・評価等】

生徒の姿がとても良いので、新学習指導要領で生徒の姿がどのように変化していくのかを今後検証して欲しい。外部からも支援させていただく。